

# 第129期定時株主総会 開催日：2026年6月26日(金)

## 質問と回答

(事前質問)

Q：担い手不足への対策と労務費高騰への対応について教えてほしい。

A：担い手不足は建設業における重要課題の一つと認識しております。  
次世代の担い手を確保するためには、当社社員に限らず、協力会社社員、建設技能者を含めた業界全体の就労環境整備と処遇改善が不可欠です。賃金水準の向上や週休二日を前提とした工期確保を図りながら、建設技能者の社会的地位の向上を実現し、若者にとって魅力ある産業とすることが重要であると考えております。  
このため当社は、重層下請け構造の見直しや協力会社の後継者育成・採用支援、報奨制度の拡充などに取り組んでおります。  
また、今後も担い手確保の観点から労務費の上昇が見込まれますが、その重要性については発注者の理解も進んでおります。当社は、適正な労務費の支払いと生産性向上による建設コスト抑制に努めるとともに、発注者との協議に基づき、これらを適切に請負金額へ反映してまいります。

# 第129期定時株主総会 開催日：2026年6月26日(金)

## 質問と回答

(事前質問)

Q：海外事業における当社技術の流出対策及び経済安全保障への対応について教えてほしい。

A：当社は、技術・知的財産の保護および経済安全保障リスクへの対応を重要な経営課題と認識しております。

技術の流出・盗用対策につきましては、国内外の事業を問わず、技術提供範囲の管理、契約上の知的財産保護、サイバーセキュリティ対策等を実施しており、コーポレート部門である総務管理本部が中心となって、関係部門と連携しながら全社的に対応しております。また、経済安全保障に関する対応につきましては、海外事業について政治・経済・安全保障面を含め総合的にリスクを評価した上で投資等を判断する他、海外資材調達等のサプライチェーンの分断リスク等を意識し、安定的かつ持続的な成長を目指しております。

今後も、技術・知的財産の保護や経済安全保障リスクに取り組み、適切な情報発信に努めてまいります。

# 第129期定時株主総会 開催日：2026年6月26日(金)

## 質問と回答

(事前質問)

Q：開発事業の共同事業における開発事業と建設事業の利益相反の有無と、防止するためのガバナンスについて教えてほしい。

A：当社では、開発事業と建設事業において両事業の適正利益の確保を前提として取り組んでおります。開発部門では、事業として成立することを最優先に、工事費を適切に査定しており、建設部門では、適正な利益、工期、施工体制、契約条件の確保を徹底し、両部門それぞれが、別の社内審査体制のもとで管理・推進しております。

その上で開発、建設の各部門が協力して、機能を維持しつつコストを低減する仕様変更や床面積を増加させる設計変更を提案するなど、開発事業、建設事業の両面における収益性を向上させる取組みを推進しております。これは共同事業者が参加している場合も同様であり、建設部門から提示された工事費を共同事業者が査定し、関係者が納得する形で工事費を決定しております。

今後とも、不動産ノウハウと建設技術をあわせもつ強みを活かし、付加価値の高い事業の創出に取り組んでまいります。

# 第129期定時株主総会 開催日：2026年6月26日(金)

## 質問と回答

Q：AI活用の取り組みや投資の状況について教えてほしい。

A：当社は、AIを活用した建設生産の自動化・高度化を重要な経営課題と位置付け、継続的な投資を行っております。

土木分野では、ダム、トンネル、造成などの建設工事を中心に自動化が着実に進展しており、それらの現場において施工状況を「見て判定する」領域へのAI活用に注力しております。また、建築分野ではロボティクスやフィジカルAIを含む先端技術の導入に積極的に取り組もうとしています。今後もAIの導入・活用に関する投資を通じて、建設現場の生産性向上を推進してまいります。